

71. 感染症に起因したDICに対するアンチトロンビン製剤の使用状況調査

研究の概要

アンチトロンビン低下を伴う播種性血管内凝固症候群の(DIC) 治療には、血漿由来人アンチトロンビン製剤が使用されています。近年、遺伝子組み換えアンチトロンビン製剤が導入され選択肢が増えています。遺伝子組み換えアンチトロンビンは、血漿由来のウイルス等による感染リスクの低減が期待されている他、血漿由来人アンチトロンビン製剤との比較試験において生物学的同等性およびDIC離脱率に関する非劣性が報告されています。

研究の目的と方法

当院における感染症に起因したDICに対するアンチトロンビン製剤の使用状況を調査し有効性と安全性を評価します。

本研究の参加について

本研究により患者さんに新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究に扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。本研究へ参加されたくない方は、データ登録を拒否して頂くことができます。その場合は、研究責任者へご連絡ください。

調査する内容

本研究は既存カルテ情報のみを用いて実施する研究です。研究対象者（患者さん）の個人情報（氏名、住所、電話番号、カルテ番号など）は記載せず、対応表を作成して管理しますので、個人情報は特定されません。

調査期間

調査対象期間： 2017年6月1日～2019年3月31日

研究実施期間： 倫理委員会承認後～2020年3月31日

研究成果の発表

調査した患者さまのデータは、集団として分析し、学会や論文で発表を予定しています。

研究代表者

薬剤部 花田聖典

当院における研究責任者

薬剤部 花田聖典

問い合わせ先

薬剤部 花田聖典

TEL: 096-353-6501